

多職種とのグループワークによるパスの検討

「白内障手術の臨床パスを利用して」

済生会西条病院 丹 直子
秋山 直美
大西 佑奈
石井 博



済生会西条病院



・病床数 150床(うち回復リハビリテーション24床、ICU4床)
・診療科 外科・内科・整形外科・泌尿器科・循環器・眼科
脳神経外科・皮膚科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科

はじめに

- ・平成15年～臨床パス委員会発足
- ・委員:全職種で構成
- ・パス作成:医師、看護師
- ・院内パス大会:年2回開催
- ・新しいパスの導入
- ・参加者へのアンケート結果
20%の職員がパスがわからない

パスがわからない理由

- ・自分たちには関係ない
- ・看護師でないから難しすぎる
- ・パスについて知らない

職員総数 355名
医師24名 看護師150名 コメディカル103名 事務78名
(平成25年3月現在)

出席人数 228名
医師 18名
看護師84名
コメディカル67名
事務59名

平成25年3月
院内パス大会

パス委員
(医師・看護師)
が中心に開催

全職員参加型のグループワーク

平成25年12月パス大会 「パスを読み解きましょう」

目的:全職員にパスを
理解してもらう
パス:白内障医療者用パス使用
(医療者用)

白内障(医療者用パス)

「両眼白内障手術(右眼から用)クリニカルパス」(医療者用) No. 1		適用基準		最高年齢75歳未満 重症合併症のリスクがある場合	
項目	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2
病期	入院前まで	手術前	(入院) 手術前(前)	手術前(後)	(入院) 手術前(前)
病状	入院前まで	手術前	(入院) 手術前(前)	手術前(後)	(入院) 手術前(前)
検査	自由	検査済	検査済	検査済	検査済
安静措置	自由	自由	自由	自由	自由
食事	自由	自由	自由	自由	自由
入浴	自由	自由	自由	自由	自由
移動	自由	自由	自由	自由	自由
入浴	自由	自由	自由	自由	自由
点滴	自由	自由	自由	自由	自由
検査	自由	自由	自由	自由	自由
退院	自由	自由	自由	自由	自由

白内障(患者用パス)

両眼白内障の手術を受けられる方へ(右眼から)					
月日	手術前(前)	手術前(前)	手術前(前)	手術前(後)	手術前(後)
病日	手術前(前)	手術前(前)	手術前(前)	手術前(後)	手術前(後)
食事	自由	自由	自由	自由	自由
安静措置	自由	自由	自由	自由	自由
体温	自由	自由	自由	自由	自由
清潔	自由	自由	自由	自由	自由
内服	自由	自由	自由	自由	自由
点滴	自由	自由	自由	自由	自由
検査	自由	自由	自由	自由	自由

平成25年12月パス大会 「パスを読み解きましょう」

- ①入院・手術・退院までの
流れをDVDに収録し
視聴する



平成25年12月パス大会 「パスを読み解きましょう」

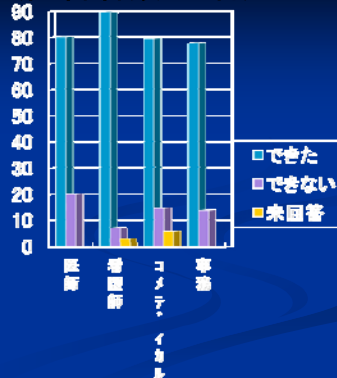
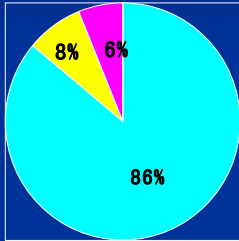
- ②グループワーク
(1グループ20名程度)
DVD、紙パスを見て疑問点、
改善点を話し合い検討

グループワーク

- ・眼科用なのにパスの字が小さい(看護助手)
- ・トイレ歩行は高齢者にはわからない言い方ではないか(医事課)
- ・帰りの運転は可能か?(放射線技師)
- ・術前の目薬をさし忘れて手術ができないというのをパスに必要ではないか(医事課)
- ・点眼の種類が多くて理解しにくい。説明を詳しくしたほうがよい(検査技師)
- ・術後何日目から洗髪、洗顔が可能か記載したほうがよい(医事課)
- ・時間的な流れがわかったほうがよい(栄養士)

アンケート結果(回答者数138名)

パスを読み解くことができたか



平成26年5月パス大会 「患者パスをみんなで考えよう」

グループワーク

- ・前回の大会で検討した内容をふまえ患者用パス作成

白内障患者用パス作成

＜手術決定日・手術前検査日＞		1-2グループ
目標	①手術に向けての心構え、準備が出来るようにする。 ②点眼を確実にを行い、手術が出来る。	アウトカム
時間	予定 手術が〇月〇日に決定しました。	
	3つの眼検査と先生からの手術の説明があります。 ご家族と一緒に来院してください。 食事や内服は通常通りでかまいません。	経時的
	手術後に眼に埃や水が入るのを防ぐため保護メガネを使用します。 入院当日までに保護メガネの購入をお願いします。(売店またはドラッグストアで)	
	感染防止のため (手術の3日前)クラビット点眼(写真入れる)を使用します。 ()月()日の朝から()眼に1日4回点眼してください。 ※眼薬は1日4回点眼してください。	

考察

【グループワーク】

- ・一方的な発表形式ではなく、相互的な話し合いができた。
- ・他職種と関わることで、様々な視点から考える事ができた。

【患者用パスの使用】

- ・患者の視点になってパスを作成することでパスがわかりやすくなった
- ・患者の立場にたって意見が出しやすかった

今後

- ・グループワークで作成した「白内障」患者用パスの完成
- ・職員がパスを身近に感じることができる委員会活動の継続
- ・パスの充実
- ・チーム医療の充実